

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	どんぐりの里		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日 ～ 令和8年 1月 9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日 ～ 令和8年 1月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	加配職員や専門職員の配置を行い、活動に合わせ充実した職員数の確保ができている。	活動や利用児の様子や状況に合わせ、職員配置を増やして対応を行っている。また、言語聴覚士や音楽療法士など専門職の配置を行い、療育を行っている。	専門職との情報共有を行い、支援の幅や質の向上を行っていく。 外出時など事前に活動内容が把握できる場合、職員配置の調整を行っていく。
2	利用児が併用している幼稚園やこども園などへの訪問。	保護者からの依頼や幼稚園、こども園の先生からの相談などから訪問を行い、利用児の様子伺いや情報共有を行っている。	事前に困り感や相談事を傾聴し、訪問時に実際の利用児の様子を見て、意見交換を行っていく。情報共有をして支援に反映していく。
3	家族支援の充実。	保護者向けの講演会や保護者参加のプログラムの実施をしている。また必要に応じて懇談を行い、相談や不安事などを傾聴している。保護者同士の交流の場になっている。	保護者が関心のある内容から講演会実施を行っていく。利用児と一緒に取り組める内容を組み入れ、ペアトレーニングにつなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園、こども園などの併用利用児について、園からの訪問を随時受け入れていき、安定した情報共有を増やしていく。	保護者から園での様子を聞いているが、定期的に園との連絡が取れていない。	様子伺いの連絡を取り、園での様子を伺い、必要に応じてお互いが訪問をして、情報共有や支援について相談を行っていく。連携や協力体制を整えていく。
2	児童発達支援センター等から支援についてアドバイスをいただく。	支援について今までの取り組み方や支援方法などを取り組んでおり、より良い支援を取り組めるよう模索が必要。	児童発達支援センター等に見学など行い、支援についてアドバイスをもらい、支援について専門性や取り組み方を見直しを行っていく。
3	地域資源の活用や地域交流の幅を広げる。	こども園、幼稚園などと交流できる機会が少ない。	法人内のこども園などと連携を図り、交流の場の提供を行っていく。

事業所名		どんぐりの里		公表日		令和8年 2月 6日		
		利用児童数		23		回収数 18		
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				・十分確保されていると思います。 ・座って遊ぶ所も走って遊ぶ所もしっかりベースがある。 ・しっかり、のびのびと活動できるスペースがあると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				・いつも手厚い支援をありがとうございます。 ・子ども達1人1人目の届く人数が居てくれて安心です。 ・目が行き届く人数だと思います。	継続する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				・自分でカバンの片付けやトイレもしやすい。エレベーターがあったり配慮されている。 ・簡潔で分かりやすい環境が作られています。	子どもの状況など検討し、環境を整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・きれいで活動しやすい空間だと思います。 ・玄関や外の落ち葉はいつも先生方が掃き掃除でとってもキレイで部屋の床もピカピカ。 ・清潔感があり過ごしやすい空間になっています。	継続し整理整頓、清掃を行っていく。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				・ST、からだ教室も始まり嬉しいです。 ・特性に応じた支援を受けられています。 ・いつもありがとうございます。	継続して、職員間で共有し振り返り話し合いを行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					継続する。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%	6%			・しっかりと理解された上で計画を作成されていると思います。	継続して、保護者へのアセスメントの活用や聞き取りを行い、総合的に計画に反映していく。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	6%			・支援項目、支援内容ともに具体的なかつ適切に設定されていると思います。	引き続き、丁寧な説明を行い同意をいただく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				・計画に沿って支援されています。	継続する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				・適度と同じプログラムもあるので前よりできるようになったと成長が聞けるのが良い。 ・毎日、いろんな目的としたプログラムがあつてこどもも楽しそう。 ・多種多様なプログラムで固定化されないようとても工夫されています。	継続する。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	72%	6%	22%		・こどもの館や公園などでは、接する機会もあるのかなと思います。 ・歩育で公園へ行き、遊んでいる別のお友達と遊ぶのを見守ってくれている。 ・なかなか参加できませんが機会は設けられています。	児童センターや公園など地域の子どもの交流できる場を設けており、継続して実施しながらその他の場所での交流を検討する。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	94%	6%			・とても丁寧な説明がありました。 ・丁寧に説明していただきました。	継続する。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	6%				引き続き、丁寧な説明を行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	82%	6%	6%	6%	・学びの機会がよく設けられています。	家族参加プログラムや講演会、茶話会など引き続き、実施し保護者へ周知していく。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				・家でできないことでも園ではできた！と聞くと家でもできるように！と頑張れます。 ・こどもの状況についてしっかりと共有できていると感じます。	継続する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%			6%	・利用時に困りごとなど相談したり、話を聞いてもらったりしています。 ・話をさせていただいて、不安も解消できました。ありがとうございます。	円滑なコミュニケーションを取り、保護者の相談や悩み不安など傾聴している。個別懇談などの機会を継続していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	6%			・しっかり寄り添ってくださっています。	日々の会話や引継ぎなど細心の注意を払いながらコミュニケーションを図っていく。支援方法についても意図や説明を分かりやすく伝えるよう心がけていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	77%	6%	6%	11%	・夏に行われたおぼけ屋敷 母、楽しかったです。兄も参加できるイベントをありがとうございました。 ・日々楽しんでいる姿を見たり、1年間の間に楽しいイベントを用意してくれたりしている。 ・保護者交流の機会がよく設けられていると思います。	家族や兄弟が参加できるプログラムや茶話会など交流できるプログラムなどを引き続き実施し、保護者への周知や説明を行っていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	6%			・相談した事について、すぐに対応してくれ、こどもにも分かりやすく理解できるように日頃からしてくれている。 ・必要な場面では迅速・丁寧に対応していただいています。	継続する。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%			・毎日の連絡帳や、今日あった事を毎日先生方が記入してくれている。 ・配慮されていると思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%				・わかりやすく発信されています。	継続する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%			6%		継続して取り扱いに配慮していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%	6%				策定及び訓練の実施は行っている。保護者への周知や説明を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	89%			11%	・定期的に訓練が行われています。	避難訓練（災害に応じた身の守り方、避難場所まで歩くなど）の実施している。利用日によって参加できていない場合があり、頻度を増やすことを検討する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	6%		6%		説明を行い、周知をする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77%	6%		17%	・今まで事故はあったことはないですが、かすり傷でさえ教えてくれています。 ・丁寧に説明されています。	継続し、説明を丁寧に行っていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	94%	6%			・行きしぶることなく通所しています。 ・前日の夜に「明日は〇〇やな」とプログラムを確認してから楽しみに行っている。 ・こどもは信頼し、安心して通っていると感じています。	継続する。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	89%	11%			・本人に聞いても答えてはくれないけど毎日（ほとんど）機嫌が良いです。 ・プログラムをチェックし、とても楽しみに通っています。	継続する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%			・毎日いろいろなプログラムで親の私も楽しいです。 ・きめ細やかな支援にとっても満足しています。	継続する。

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		どんぐりの里			公表日		令和8年 2月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	・配置数は適切なので、その中で職員の立ち位置を考慮していく必要がある。 ・1対1でつかないと大変な子ども達が増え大変な時が増えた。 ・1対1で職員が付く必要な利用児が増えた。	子どもの様子や状況に応じて、応援職員を配置し、安全を確保する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・園庭に遊具があればもっといいと思います。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		・過去に受けている。	外部評価を行う頻度が低い為、適宜実施を検討する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・各研修や法人内事業所へ研修へ行った。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・保護者の方からアセスメントを記入して頂いている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・児発職員揃ってモニタリング、ケース会議など行っている。 ・モニタリングや作成会議など職員で話し合い意見を出している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・作成後計画書を共有している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			継続し、行事など相談や話し合いを行いながら立案し、実施後は反省や振り返りを行っている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・曜日なども工夫し計画している。 ・季節の遊びや行事などや公共施設や交通機関など利用も取り入れている。	継続する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			継続し、子どもの様子やアセスメントシートなど用いて、個別活動と集団活動や家族支援など総合的に組み合わせしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			継続する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・都度共有をしている為、迅速な対応や臨機応変に対応することが出来ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・必要に応じて、ケース会議として記録している。 ・関係機関や他機関との連携状況や保護者からの聞き取りなど情報なども記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的に職員間でモニタリングを行い、見直しをしている。	継続する。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・他部門との協力体制が必要。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			連携が図れるよう、関係を構築していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・こども園、幼稚園などへ訪問を行っている。	課題はあるが様々な観点を踏まえ、支援に活かしていけるよう情報共有を行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%		必要に応じて、連携支援や対応を行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	17%	83%		児童発達支援センターへの見学や連携、専門職の先生などから助言などをいただく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	・プログラムで工夫している。	引き続き、児童センターや公園など地域資源を活用し、交流できる機会を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			丁寧に説明を行い、引き続き共通理解を図っていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			継続する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・アセスメントシートの活用や保護者からの聞き取りを行い、意向の確認をしている。	継続する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・丁寧に説明を行い、保護者から同意を得ている。	継続する。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・適宜、相談や悩み事など傾聴し対応している。 ・必要に応じて個別懇談を取り入れている。	継続する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%			周知や実施をしているが、参加にはばらつきがある為、情報共有や説明を行っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			継続する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%		交流の場の提供や地域の催し物への参加を検討する。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・定期的に避難訓練などを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・保護者からの聞き取りや健康調査票などを活用し把握をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・医師からの指示を保護者から伺っている。 ・管理栄養士と情報共有を行い、指示のもと給食提供などを行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			継続して周知する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			継続して周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%	・各部門内で共有されていても、事業所内での共有はあまりされていない。	各部署が共有・周知をしてから事業所内全体に共有をして再発防止を図っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・継続して虐待防止委員会や身体拘束適正化委員会を基に研修や情報共有を行っている。	継続する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・身体拘束について十分に説明をして了解を得ており、同意書にサインをしてもらっている。	継続する。



公表

## 事業所における自己評価総括表 (放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人あいむ どんぐりの里 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～	令和8年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～	令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・幅広いプログラムの実施。	・広い居家で運動遊びや、工作など様々なプログラムを実施。 ・積極的に地域に出て、社会体験を行っている。 ・職員身内を通じて農業体験や、店舗運営体験など様々なプログラムを開催している。	・今後も継続、集団活動を通して多くの体験できる場を提供していく。
2	・家族支援の充実	・月一度の親子参加プログラム(山登り)を実施している。季節の行事でクリスマス会、お化け屋敷遊びや、BBQなど定期的に親子、家族で参加できるプログラムを実施している。利用者から毎回高評を頂いている。	・今後も継続し、利用者からの意見を取り入れ、反映させていく
3	・法人内に多種多様なサービスがあり、継続的な支援が可能。 ・法人内、他事業所と合同で療育に取り組める。	・合同プログラムや行事などで児童発達支援や就労B型支援、社会参加事業や他の放課後等デイサービスの職員や利用児と関わる機会を設けている。	・今後も法人内に限らず、様々な多種多様なサービスと関わる機会を設け、関りの幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域交流の拡大	・地域サッカークラブや社会参加事業との交流はあるが、不定期で交流している為、定着はしていない。	・今後は人脈などを活用し、様々な事業所と合同で開催し積極的に地域交流を増やしていきたい。
2	・施設の老朽化	・外階段の錆や劣化。プレイルーム内の壁紙クロス剥がれなど老朽化している部分がある。 ・児童用の椅子や机の劣化	・予算を組み、修繕、買い替えのできるところから、取り組んでいく。
3	・より支援の向上を図るために第三者の方に意見やアセスメントをいただく	・現状事業所内で検討し解決できているため、タイミングを失っている。	・第三者の方に依頼し、見学や助言をいただく機会を検討する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名		どんぐりの里		公表日		令和8年2月6日		
				利用児童数 45		回収数 22		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・のびのびと活動できるスペースが確保されていると思います。	・継続していく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95%	5%	0%	0%		・継続していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	・配慮のある構成になっている。	・引き続き適切な対応を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・引き続き職員全員で意識して取り組む
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91%	9%	0%	0%	・特性に応じた支援を受けられている。	・引き続き適切な支援を行う
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・継続していく
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%	・しっかり分析・理解して計画が作られている。	・継続していく
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	91%	0%	0%	9%	・子どもに合った支援内容が設定されている。	・今後も維持し、改善点があれば見直し対応していく
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・計画に沿った支援が行われている。	・継続していく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・多彩なプログラムで楽しい工夫がされている。	・継続していく
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	45%	9%	0%	46%		・今後も出来る範囲で交流の機会を増やす
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・わかりやすく説明を受けた。	・継続していく
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	82%	5%	5%	8%		継続して丁寧に説明を行っていく
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	91%	5%	0%	4%	・家族が勉強できる機会がよく設けられている。	・出来る範囲で継続していく
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・こまめにできている。	・今後も維持し、改善点があれば見直し対応を行う
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82%	5%	5%	8%	・必要な助言を受けている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	55%	14%	0%	31%	・保護者の交流の機会がある。 ・きょうだいも一緒に交流できる機会があれば参加したい。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	91%	0%	0%	9%	・適切なタイミングで相談できる。	



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	・こまやかな配慮がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	・分かりやすく発信されている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	86%	9%	0%	5%		見直し、改善があれば検討していく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	91%	4%	0%	5%	・必要な訓練が行われている。	見直し、改善があれば検討していく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・安全の確保についてしっかりと考えている。	見直し、改善があれば検討していく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	・丁寧に説明してもらえる。	見直し、改善があれば検討していく
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・安心して通っている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・様々なプログラムがあり、いつも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・様々な年代と交流できている。 ・丁寧な温かみのある支援に大変満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果 (放課後等デイサービス)

事業所名		公表日				
どんぐりの里		令和8年 2月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・広い居室で体を動かすスペース、ゆっくり過ごすスペースと分けて過ごすことができる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・ 適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66%	34%		・ AEDの設置がない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・ 日々清掃や消毒を実施している。 ・ 活動に合わせて環境設定を行い、安全に活動できるように務めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・ 今後も継続	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ 日々、職員間で意見交換して支援や活動に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・ 研修案内を回覧し、自ら申し込めるようにしている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・ HP記載。 ・ 作成段階から職員間で共有	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		・ 継続していく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		・ 今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		・ 今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・ 今後も継続し、改善点があれば見直し対応していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・ 職員間で相談をし、立案できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		・ 今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・集団、個別で楽しめるように行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・短い時間でも共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・細かな変化や様子、相談などの記録を取り、振り返りなどに活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・職員間で密に利用児の成長、変化について話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・職員間で密に利用児の成長、変化について話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		・今後も、維持し改善点があれば見直し、対応していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・保護者を通して、医療の服薬の調整や様子を聞き健康記録をつけ支援している。 ・関係機関には必要に応じて担当者会議を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		・今後も維持し、改善点があれば見直し、対応していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・朝のミーティング等を通し情報共有に努めている。 ・児童発達支援事業所と密に連携が図れている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		・密に連携を図りながら情報提供を行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	・月1度のサッカー教室などで地域の子供たちと活動する機会がある。	・状況を見て、活動機会を増やす検討もする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	64%	36%		自立支援協議会の周知を行い、参加を促していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・必要に応じてペアトレーニングという取り組みがあること情報提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・迎えや送迎時にやり取りを行い、意向を確認する機会は日常的に設けている。 ・アセスメントを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・月一度の親子参加プログラム(山登り)を開催している。 ・不定期で親子参加プログラムも開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・保護者を通して対応している	・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・作成、周知を徹底し、再発防止に努めている。	・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修報告を周知している。	・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束適正委員会を定期的に開催している。利用者に十分に説明を行っている。	・今後も継続し、改善点があれば見直し、対応していく。